

# 平成 26 年度事業報告

I 平成 26 年度事業報告の概要

II 法人本部事業報告

III 事業報告

自立サポート森と木

デイセンター風の森

花の森

モーリー農場

もりすけ

発達障害のある人のための地域生活支援センターまめじまカフェ

発達障害のある人のための地域生活支援センターまめじまカフェ (短期入所)

もりときマーケット

宅配弁当ごはんの森

ようこそ森と木ラボ

もりときピコ

遊びの教室 Bee

こどもの自立生活館茜舎

ワズハウス (放課後等デイサービス)

エンパワメントセンターワズハウス (短期入所)

あかね舎ファミリーホーム

エンパワメントセンターワズハウス (ホームヘルプ)

グループホーム

障害児者地域生活相談室ベターデイズ

地域活動支援センター

# 平成 26 年度事業の概要

## 1. 総括

平成 26 年度は、森と木の新しい十年の幕開けとして、法人名を「ながの障害者生活支援協会」から「森と木」に改名し、障害のある人の地域生活支援という法人設立の原点を見据えつつ、相談機能の強化等、多様化し複雑化する福祉ニーズに応えてきた。

通所施設の編成は、比較的重い障害のある人の日中活動支援に取り組む通所支援部門、地域の中で働くために店舗展開をするマーケティング事業部、そして平成 26 年度は発達障害のある人の支援を行うコミュニケーション支援部を新たに設け権堂地区によろこ森と木ラボを開設した。それぞれの通所施設の役割を意識して作業活動等に取り組んできた。

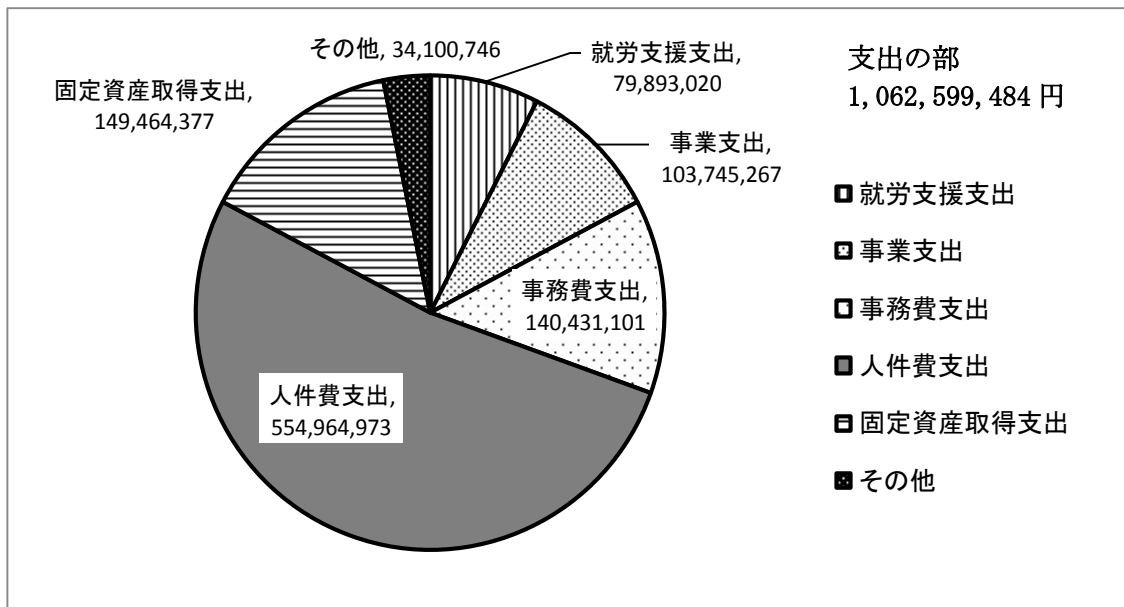
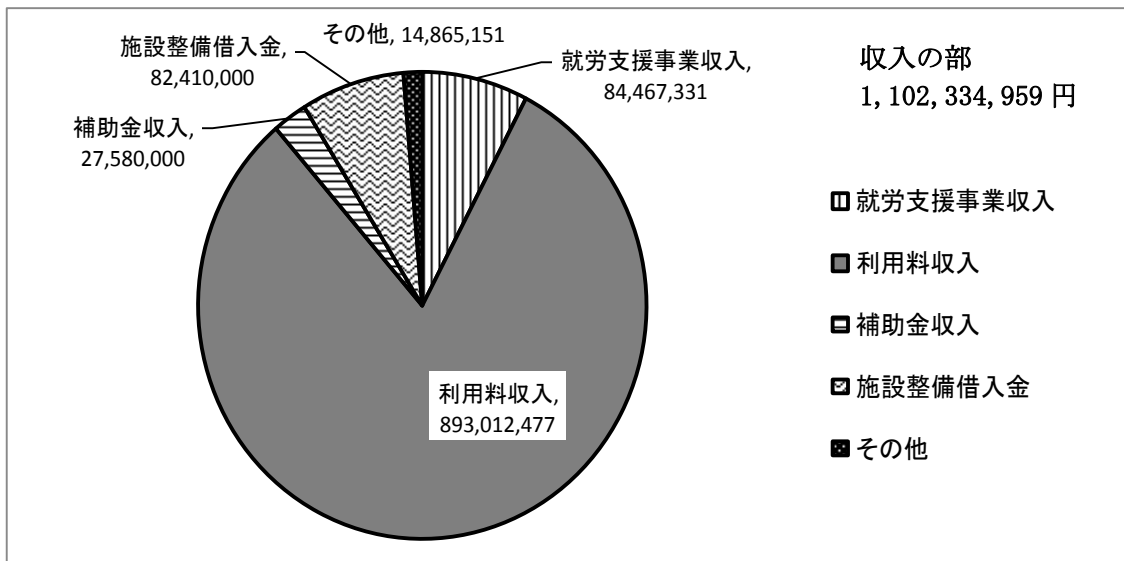
障害のある子どもとその家族に対する支援は、B e e、茜舎、ファミリーホームを中心に、拡大するニーズに応えてきた。

グループホームは女性のホーム（定員 4 名）が春に開設し、さらに新しいホームの整備事業（グリーンハイツ稲田）も行い年度末に完成した。

計画相談の完全実施に伴い相談支援部も相談員を増員し、療育コーディネーター等の相談員と連携し相談機能の強化を図ってきた。

また一方、職員の採用計画が思うように進まず、それぞれの部門等で人手不足が慢性化しており、これによる一人ひとりの職員の負担増などへの影響が課題として挙げられる。人材確保及び職員の福利厚生を目的に育休明けの職員向けの託児サービスを新たに開始した。

## 2. 決算の状況〔グラフ〕 ※平成 26 年度の資金収支状況



## Ⅱ. 管理部門事業報告

### 平成 26 年度 法人本部

#### 1. 平成 26 年度 理事会・評議員会・監査

平成 26 年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

##### (1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	平成 26 年 5 月 15 日 (木) 午前 10 時より	平成 25 年度事業・財産監査	承認
臨時理事会	平成 26 年 4 月 4 日 (金) 午後 6 時より	第 1 号議案：平成 26 年度「ようこそもとときラボ内装工事」入札業者選定について(案)	
第 1 回 評議員会	平成 26 年 5 月 24 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 25 年度決算報告書 (案) について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認
第 1 回 理事会	平成 26 年 5 月 24 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 25 年度決算報告書 (案) について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決
第 2 回 評議員会	平成 26 年 7 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 役員改選について 第 2 号議案 金融機関からの借入れについて 第 3 号議案 名称変更について 第 4 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認 第 4 号議案：全会一致承認
第 2 回 理事会	平成 26 年 7 月 26 日 (土) 午後 2 時 30 分より	第 1 号議案 役員改選について 第 2 号議案 金融機関からの借入れについて 第 3 号議案 名称変更について 第 4 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決 第 4 号議案：全会一致可決
理事長互選の ための会議	平成 26 年 8 月 3 日 (日) 午後 3 時より	第 1 号議案 第 7 期理事長の選出について 第 2 号議案 専務理事の選任について 第 3 号議案 理事長の職務を代理する順位(案)について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決
臨時評議員会	平成 26 年 8 月 15 日 (金) 午後 5 時より	第 1 号議案 銀行からの借入限度額の変更について	第 1 号議案：全会一致承認
臨時理事会	平成 26 年 8 月 15 日 (金) 午後 6 時 30 分より	第 1 号議案 銀行からの借入限度額の変更について	第 1 号議案：全会一致可決
第 3 回 評議員会	平成 26 年 9 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 26 年度補正予算 (案) について	第 1 号議案：全会一致承認
第 3 回 理事会	平成 26 年 9 月 27 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 平成 26 年度補正予算 (案) について	第 1 号議案：全会一致可決

第4回 評議員会	平成27年3月14日(土) 午後1時30分より	第1号議案 平成27年度事業計画(案)について 第2号議案 平成27年度予算書(案)について 第3号議案 平成26年度補正予算(案)について 第4号議案 金融機関からの借入限度額について 第5号議案 諸規定の改定について	第1号議案：全会一致承認 第2号議案：全会一致承認 第3号議案：全会一致承認 第4号議案：全会一致承認 第5号議案：全会一致承認
第4回 理事会	平成27年3月14日(土) 午後3時30分より	第1号議案 平成27年度事業計画(案)について 第2号議案 平成27年度予算書(案)について 第3号議案 平成26年度補正予算(案)について 第4号議案 金融機関からの借入限度額について 第5号議案 諸規定の改定について	第1号議案：全会一致可決 第2号議案：全会一致可決 第3号議案：全会一致可決 第4号議案：全会一致可決 第5号議案：全会一致可決

(2) 理事・評議員出欠状況

	日時	出席者	欠席者
監査	平成26年5月15日(木) 午前10時より		
臨時 理事会	平成26年4月4日(金) 午後6時より		
第1回 評議員会	平成26年5月24日(土) 午後1時30分より		
第1回 理事会	平成26年5月24日(土) 午後3時30分より		
第2回 評議員会	平成26年7月26日(土) 午後1時30分より		
第2回 理事会	平成26年7月26日(土) 午後2時30分より		
理事長 互選のため の会議	平成26年8月3日(日) 午後3時より		
臨時 評議員会	平成26年8月15日(金) 午後5時より		
臨時 理事会	平成26年8月15日(金) 午後6時30分より		

第3回 評議員会	平成26年9月27日(土) 午後1時30分より		
第3回 理事会	平成26年9月27日(土) 午後3時30分より		
第4回 評議員会	平成27年3月14日(土) 午後1時30分より		
第4回 理事会	平成27年3月14日(土) 午後3時30分より		

## 2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

### 研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	利用人数
書籍購入費 (関係書籍等 151 冊)	260,862 円	22 人
資格取得費 (社会福祉士、精神保健福祉士等)	100,000 円	2 人
研修参加費 (青葉園・びわこ学園、アート研修等)	209,873 円	12 人
合計	570,735 円	36 人

## 3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員の資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

### 開催回数・支給金額

開催回数	支給金額
28 回	277,160 円

#### 4. 新規職員採用試験

##### 平成 27 年度新規職員採用試験の実施

###### (1) 試験日時等

日時 第 1 回 平成 26 年 9 月 6 日(土) 午前 9 時 30 分より

第 2 回 平成 26 年 12 月 6 日(土) 午前 9 時 30 分より

会場 エンパワメントセンター ワンズハウス 2 階研修室

内容 筆記試験・面接試験

###### (2) 採用結果

新人職員 4 名採用

#### 5. 平成 27 年度新人職員及び職員研修の実施

###### (1) 日時等

日時 平成 27 年 3 月 28 日(土)、29 日(日)

会場 山ノ内町 星川館

参加人数 56 名

###### (2) 研修内容

研修 1 各事業概要説明

通所支援部門、生活支援部門、相談支援部、マーケティング事業部及びコミュニケーション支援部の事業概要説明を行った。

研修 2 若者プランに向けて

センター長の講義及び「10 年後の森と木」について勤続年数別に職員がグループごとに考えをまとめ、発表を行った。

#### 6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

##### 場所・人数等

場所	ワンズハウス 1 階 託児室														
利用数	3 人														
職員体制	保育士 2 人														
開所日	108 日(平成 26 年 9 月～3 月)														
開所時間	8:00～18:30														
基本日課	<table><tr><td>8:00</td><td>10:00</td><td>11:30</td><td>12:30</td><td>15:00</td><td>17:00</td><td>18:30</td></tr><tr><td>受入</td><td>おやつ・朝寝</td><td>昼食</td><td>昼寝</td><td>おやつ</td><td>おやつ</td><td>帰宅</td></tr></table>	8:00	10:00	11:30	12:30	15:00	17:00	18:30	受入	おやつ・朝寝	昼食	昼寝	おやつ	おやつ	帰宅
8:00	10:00	11:30	12:30	15:00	17:00	18:30									
受入	おやつ・朝寝	昼食	昼寝	おやつ	おやつ	帰宅									

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	自立訓練（生活訓練） 生活介護
1. 総括	特別支援学校を卒業した知的障害のある人を主な対象に、多様な社会体験プログラムを提供した。地域のなかにある公共施設や店舗、また地域の方に活動に関わってもらい、一人ひとりが社会経験を積み、関わりを広げながら、自己肯定感を高めていけるよう支援を行った。チャレンジ企画は、これまで行っていたイベントに加え、冬季の企画としてスノーチャレンジを行い、同世代の仲間とともにチャレンジする楽しさや成し遂げる達成感を感じられる機会となった。		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練及び生活介護の支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画を作成し 3 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。 生活介護計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 10 名 (4) 看護師 0.2 名		
4. 利用者実績	(1) 定員：生活介護 14 名、自立訓練 6 名 (2) 契約者数：生活介護 17 名、自立訓練 7 名 (3) 1 日平均：生活介護 11.3 名、自立訓練 3.8 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>①自立生活プログラム：身近な生活に関わることをテーマに、官公庁や町のなかの店舗、公共交通機関など、社会資源を積極的に活用しながら社会学習に取り組んだ（テーマ：郷土料理、町の中の様々な仕事、発酵食品と保存食等）。</p> <p>②サークル活動：週に一度、アート、スポーツ、料理の活動にわかれ、仲間どうしで趣味を楽しむ活動に取り組んだ。</p> <p>③作業活動：製菓作業、陶芸作業、下請作業（ポスティング）、クラフト作業に取り組み、製品の販売や納品を行なった。</p> <p>④おもしろ文化講座：多様な職種の専門家を講師として招き、話や実演を見聞きすることでその文化に触れ楽しむ機会をつくった（フルート奏者の演奏、国際交流員との交流、フラワーアレンジメント、しめなわ作り等）。</p> <p>⑤チャレンジ企画：これまでに経験したことのないことに挑戦するためのイベントとして、5 月 23 日大峰山登山、7 月 17 日～18 日飯綱高原キャンプ、10 月 30 日～31 日森と木ウォーク、3 月 20 日にスノーチャレンジを開催した。</p>		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>周辺地域へのチラシ配布や清掃など、地域と自然なかかわりを持ちながら活動に取り組むことができた。また様々なオリジナル製品製作を通し、店舗・イベントなどで販売や納品する機会を持ち、製品を作った達成感を感じていただくよう取り組むことができた。</p> <p>アート活動では今まで描かれた作品からアート展を開くことができた。「キノ芸術祭」や、灯明祭り期間中に行った「キノ絵と土のあかり展」など様々な展示会の機会を持つことが出来た。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護事業をおこなう。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催する。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、送迎サービス、入浴サービス、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	<p>(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 12.0 名 (4) 看護師 0.5 名</p>		
4. 利用者実績	<p>(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：24 名 (3) 1 日平均 18.0 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>①作業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工雑貨の製作と販売</li> <li>・和紙雑貨の製作と販売</li> <li>・クラフトマットを使用した雑貨作り・布製品の製作と販売</li> <li>・オリジナルクッキーの製造と販売</li> <li>・陶芸（粘土ビーズの製作）</li> <li>・街路樹清掃（平林地区周辺の地域清掃の実施）</li> <li>・アトリエキノ（アート活動）</li> <li>・下請作業（フリーペーパー配布）</li> </ul> <p>②クラフトショップ もりから堂 法人外商品・クラフト雑貨・クッキー等の販売、店舗運営</p> <p>③余暇活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サタP（土曜余暇活動）の実施</li> <li>・忘年会の実施</li> </ul> <p>2014 年 12/8～/9 「風の森大忘年会」：アゼイリア飯綱にて宴会・宿泊</p> <p>④個別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ（プール、ウォーキング等）</li> <li>・インターネット</li> <li>・外出（食事等）</li> <li>・図書館、フルネットセンターの利用</li> </ul>		



事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	花の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	作業場を花の森とエコロに分け、花の森では活動を通して地域主催のイベントに参加したり、エコロでは地域住民の方から空き缶の回収を行ったりするなど、様々な活動を通し地域の中で自然な関わりを持ちながら充実した活動を行うことが出来た。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護事業をおこなう。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6 カ月に 1 回モニタリングのためのケア会議を開催する。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、送迎サービス、入浴サービス、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 12.4 名 (4) 看護師 0.5 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：21 名 (3) 1 日平均 15.5 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	①花の森 ・オリジナル雑貨製作（ポプリポットやミサンガ等の製作と販売） ・花、植物（栽培と販売、植物の種の交換会鉢作り） ・地域活動への参加（種の交換会、肥料の作り方、オープンカフェでの販売等）		
	②エコロ ・アルミ缶のリサイクル活動（地域からの空き缶回収・洗浄・業者への販売） ・清掃活動（近隣の歩道などの清掃活動）		
	③余暇活動 ・サタ P（土曜余暇活動）の実施 ・忘年会の実施 2014 年 12/8～/9 「風の森・花の森合同大忘年会」：アゼイリア飯綱にて宴会・宿泊		
	④個別活動 ・スポーツ/機能維持活動（ストレッチ、ウォーキング、補助器具を使った活動） ・外出（図書館の利用、食事、買い物等）		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	作業を加工食品の製造、農産物の生産、オリジナル雑貨の製作、企業の下請けに分け、仕事を通して地域社会と直接関わることで、自身の社会の中での役割を感じながら自己肯定感を高められるよう支援を行なった。また、定期的に運動する機会や収穫祭・飲み会、研修旅行などの余暇活動にも取り組んだ。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護を実施した。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、送迎サービス、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名、(2) サービス管理責任者 1 名、(3) 生活支援員 7.8 名、(4) 看護師 0.2 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：21 名 (3) 1 日平均 17.9 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	①加工食品の製造・販売 ジャムの製造、モーリーズの運営、トマトケチャップ製造（試行）		
	②農作業 野菜・雑穀・しいたけの栽培と販売、野菜宅配事業の運営		
	③クラフト作業 ・木工雑貨作り（りんごの枝を使った鉛筆作り）		
	④下請け作業 ・ポストイングの下請け、農家の手伝い（剪定枝の片づけ）		
	⑤個別活動 ・スポーツ（ウォーキング、球技）、インターネット等		
	⑥余暇活動 ・外食、飲み会（各グループでの暑気払い・忘年会等）、土曜日の余暇企画		
	⑦研修旅行（年 1 回、グループ毎、研修を兼ねた宿泊または日帰り旅行） 1) 2014 年 10/9～/10 ジャム・クラフト G 白樺湖 和紙作り、牧場見学他 2) 2014 年 12/18～/19 しいたけ G 群馬 しいたけ栽培研修、博物館見学他 3) 2015 年 3/19～/20 はたけ G 伊那 堆肥作り体験、イチゴ狩り他		
7. 就労事業決算	就労支援助入		2,970,612 円
	就労支援支出	利用者工賃	169,480 円
		当期材料仕入高	1,506,389 円
		水道光熱費	294,254 円
		消耗品費	263,969 円
		通信運搬費	188,840 円
		雑費	5,200 円
		賃借料	496,848 円
就労支援支出計		2,924,980 円	

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	利用者の方が主体的に働く場として、菓子専門の工房を作り雑穀菓子製造に取り組んだ。雑穀菓子の種類を増やす事で作業種を増やし、利用者の方がより得意な作業に取り組めるよう工夫した。また製造された雑穀菓子の販路を拡大し、地域の様々な店舗や施設で利用者の方が直接販売する機会を持つ事ができた。また、日々のミーティングの中で、製造・販売など皆さんと成果を確認しながら取り組むことが出来た。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った生活介護事業を行った。 ----- (2) 個別支援計画の作成 生活介護計画を作成し、6カ月に1回モニタリングのためのケア会議を開催した。 ----- (3) その他の事業 健康診断、避難訓練、送迎サービス、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 7.9 名 (4) 看護師 0.1 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：12 名 (3) 1 日平均 9.4 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	① 雑穀菓子の製造と販売 (外部店舗へ納品と出張販売) ----- ② 余暇活動 ・サタ P (土曜余暇活動) の実施 ----- ③ 研修旅行 パン作り体験、雑穀レストランで食事と栽培方法等の研修 2015. 11/13～/14 「伊那市みはらしファーム・野のもの」		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	発達障害のある人の 地域生活支援センター まめじまカフェ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	行動障害等がある自閉症の方を主な対象に、個々の障害特性に配慮した環境と活動プログラムを通して、安心して社会生活を送るために必要な支援について検証することを目的として支援を行った。一人ひとりにあった環境設定や支援方法を見きわめ、それを家庭や他の支援機関とも共有することで、地域生活の次のステップへとつなげていけるよう支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名、(2) サービス管理責任者 1 名、(3) 生活支援員 6.6 名、(4) 看護師 0.2 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：13 名 (3) 1 日平均 8.5 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	①作業：農作業、空缶のリサイクル、下請け（企業広告のポスティング）、ペットボトルのキャップ回収・寄付		
	②社会的活動：個別のニーズや特性に応じて、買い物、外食、スポーツ、感覚刺激を楽しむ活動、公共交通機関を用いた旅行を行った。		
	③集団で余暇を楽しむための活動：毎月 1 度、季節を楽しむ活動（フルーツ狩りや紅葉狩り、もちつき等）や調理活動など、周囲との関わりをもちながら余暇を楽しむための活動に取り組んだ。		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	発達障害のある人の 地域生活支援センター まめじまカフェ	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の体験宿泊としての支援や、家族の介護軽減等を目的にした宿泊の支援を行った。利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な保護を行った。		
2. 事業の内容	(1) ケアプランに沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 生活支援員 1.3 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 3 名 (2) 契約者数：8 名 (3) 1 日平均 3 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日		
6. 活動/作業内容	①食事、排泄、更衣等の日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- ②自立生活に向けた相談、助言 家庭での生活や今後の自立生活に向け、一人ひとりのアセスメントについて情報を集め、ご家族や支援者等への助言を行った。		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	生活介護 就労継続支援 B 型
1. 総括	利用者がやりがいや誇りを実感しながらいきいきと働き、社会人として充実した職業生活が送れるよう、さまざまな作業を提案し、スキルアップを目指して支援を行った。研修旅行では、店舗で働く一員として、接客業の心得や衛生管理などについて再確認する機会を設け、ひとりひとりの意識向上を図ることができた。また、月に 2 回実施した余暇企画はリフレッシュの機会にもなった。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続 B 型支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援 B 型支援計画を作成し、6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 10.6 名 (4) 職業指導員 1 名 (5) 目標工賃達成指導員 1 名 (6) 看護師 0.1 名		
4. 利用者実績	(1) 定員：生活介護 10 名、就労継続 B 型 10 名 (2) 契約者数：生活介護 11 名、就労継続 B 型 12 名 (3) 1 日平均：生活介護 4.9 人、就労継続支援 B 型 6.9 人		
5. 開設時間	・森のパン屋ベジタ、曇り時々晴れ駅前店：月曜～土曜 午前 9 時～午後 4 時 ・曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう：火曜～日曜 午前 9 時～午後 4 時		
6. 活動/作業内容	(1) 店舗の運営 パン屋、レストラン、喫茶店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、販売、食器洗浄、店内清掃等の作業支援を行った。		
	(2) ミーティング スタッフミーティングを不定期で実施し、支援内容や、業務の確認事項等について話し合いを行った。		
	(3) 勉強会 毎月 1 回勉強会を開催し、マナー講座や仕事について、お金の使い方などソーシャルスキルを高めていけるよう幅広いテーマで実施した。		
	(4) 余暇企画 ボウリングとカラオケを年 4 回企画、サタデープログラムを年 4 回実施。利用者は選択して企画に参加した。また、利用者の忘年会も企画し、実施した。		
	(5) 研修旅行 作業場所ごとに 1 泊 2 日での研修旅行を行った。 ・曇り時々晴れ 10/26～27 ホテル夢の湯、美麻珈琲 (大町) 売上報告、衛生についてなど ・森のパン屋ベジタ 9/26～27 森のログハウスなちゅらる(長和町) 最上級の接客について、乳搾り体験&バター作り ・西洋料理店もりたろう 10/19～20 民宿すわ湖(諏訪) 衛生管理について、味噌工場見学		
7. 就労事業決算	就労支援収入		67,295,199 円
	就労支援支出	利用者工賃	4,348,288 円
		就労支援事業指導員給与	1,497,587 円
		当期材料仕入高	25,367,097 円
		水道光熱費	8,570,625 円
		修繕費	197,284 円
		消耗品費	2,195,115 円
		通信運搬費	309,534 円
		雑費	1,828,900 円
		賃借料	18,570,731 円
就労支援支出計		62,885,161 円	

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	宅配弁当 ごはんの森	サービスの種類	就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>ごはんの森で働くことを実践的なスキルトレーニングとし、就職へのイメージ作りや就職活動への助言・指導を行った。また弁当の調理や配達を行うことで、本人のやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。また売上のほとんどは法人内部のものではあるが、法人外部からの注文も増え、前年に比べて売上は増加したものの、収支全体として増加は見込めなかった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿って、就労継続 B 型支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 就労継続支援 B 型の個別支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	<p>(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 1 名 (4) 職業指導員 1.5 名 (5) 目標工賃達成指導員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>(1) 定員 20 名 (2) 契約者数：9 名 (3) 1 日平均：7.6 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午前 8：30～午後 3：30</p>		
6. 活動/作業内容	<p>①店舗の経営 お弁当の調理、盛りつけ、配達、回収を行った。</p> <p>②勉強会 毎月 1 回勉強会を開催し、マナー講座や仕事について、お金の使い方などソーシャルスキルを高めていけるよう幅広いテーマで実施した。</p> <p>③余暇企画 ボウリングとカラオケを年 4 回企画、サタデープログラムを年 4 回実施。 利用者は選択して企画に参加した。また、利用者の忘年会も企画し、実施した。</p> <p>④研修旅行 『衛生管理・食中毒について』 平成 26 年 8 月 22 日・23 日 於：安曇野</p>		
7. 就労事業決算	就労支援収入		12,944,502 円
	就労支援支出	利用者工賃	1,664,910 円
		当期材料仕入高	6,556,558
		水道光熱費	1,531,818
		消耗品費	494,822 円
		通信運搬費	62,910 円
		雑費	455,034 円
		賃借料	1,571,386 円
就労支援支出計		12,337,438 円	

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	就労移行 自立訓練（生活訓練）
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に、自己理解や他者理解、コミュニケーションスキルの向上を目的とした SST に取り組んだり、自分の適性について考え、また職業生活に必要な習慣やスキル、マナーを身につけるためのキャリアサポートの活動に取り組んだりした。個別での相談や課題に応じた活動に取り組む時間をつくり、一人ひとりの目標やニーズに沿った支援を提供した。</p> <p>実習先や施設外就労先との連絡を密にし、倉庫作業や調理等の仕事に 5 名が就職した。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練及び就労移行支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画及び就労移行支援計画を作成し、3 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名、(2) サービス管理責任者 1 名、(3) 就労支援員 1 名、(4) 生活支援員 3.5 名 (5) 職業指導員 0.7 名		
4. 利用者実績	(1) 定員：就労移行支援 10 名、自立訓練 10 名 (2) 契約者数：就労移行支援 13 名、自立訓練 9 名 (3) 1 日平均：就労移行支援 7.4 名、自立訓練 4.3 名		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	①ワークトレーニング：職業生活の基本となる習慣やスキルの獲得を目指し、作業活動に取り組んだ（富士通・桜井甘精堂・ベジドリームの受注作業、老人保健施設の清掃、ミールケアの農作業等）。		
	②キャリアラボ：自分の適性について考え、ハローワークの活用や求人票の見方、職場でのコミュニケーションの取り方など、職業生活に必要なマナーやルールについて学習した。		
	③ライフラボ：コミュニケーションを楽しみスキルを高めるための活動、絵画や陶芸などの表現活動、パソコン講座や調理実習など、社会性や日常生活スキルを養うための活動に取り組んだ。		
	④個別の時間：自己理解やコミュニケーションスキルの向上を目的とした SST など、個別の課題に応じた活動に取り組んだ。		
7. 就労事業決算	就労支援助入		2,151,488 円
	就労支援支出	利用者工賃	1,349,320 円
		水道光熱費	101,172 円
		消耗品費	26,995 円
		賃借料	673,184 円
就労支援支出計		2,150,671 円	



事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>9月に開所し、発達障害のある小学生、中学生、高校生を対象に、放課後や休日のサポートを行ってきた。友だちタイムでは、子ども達が好きなことややりたいことを中心に集団での活動も行い、また学びタイムでは、学習サポートも行いながら、ご本人のやる気につながるよう支援を行った。</p> <p>福祉サービスを初めて利用する方も多く、ご家族の相談にも乗りながら安心して過ごせる場所の提供に努めた。</p>		
2. 事業の内容	①個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	②個別支援計画に沿った福祉サービスの提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。		
	③その他の事業 ケア会議への参加、もりときピコ説明会、送迎サービス		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 児童発達管理責任者 1 名 (3) 生活支援員 2.3 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 10 名 (2) 契約者数 46 名 (3) 1 日平均 7.3 名		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 15:00～19:00 (土曜日、学校休業日は 10:00～15:00)		
6. 活動/作業内容	<p>①学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間と位置づけ、苦手な部分のサポートを行った。</p> <p>②友だちタイム 月予定を作成し、子ども達が集団で楽しめるゲームや調理、工作などの活動を行った。意識的に友だちと楽しく関わる時間を設定した。</p> <p>③マイルーム 個別に関わる時間を確保し、ゆっくり話をしたり、ゲームをしたりしながら必要なスキルの向上に努めた。</p> <p>④クラブ活動 土曜日の午後に実施し、図書館を利用しながら歴史人物について調べたり、プラレールをみんなと一緒に作ったりしながら同じ趣味の仲間との関わりを楽しんだ。</p> <p>⑤説明会の実施 サービス利用説明会 (4月) 放課後デイサービス説明会 (2月)</p>		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	遊びの教室 Bee	サービスの種類	児童発達支援
1. 総括	<p>障害のある子どもや発達に不安のあるご家族の相談業務を行った。通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適応することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。</p> <p>また、発達に心配のある乳幼児期のお子さんに対し、遊びを通して楽しみながら発達を促す支援を行ったほか、家族への子育て支援も行ってきた。</p> <p>地域の保育園、幼稚園へ移行する際、保育所等訪問支援を行ない園の保育士にアドバイスをを行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、児童発達支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6 か月毎にケア会議を開催した。</p> <p>(3) 保育所等訪問支援サービス 保育所等訪問支援計画を作成し、地域の保育所への移行支援を行った。</p> <p>(4) その他の事業 健康診断（年 2 回）、避難訓練（年 2 回）、職員会議（月 1 回）、ケース会議（適宜）</p>		
3. 職員数	<p>(1) 管理者 1 名    (2) 児童発達管理責任者 1 名    (3) 保育士 4.1 名 (4) 児童指導員 1 名    (5) 機能訓練員 1 名    (6) 看護師 0.7 名 (7) 訪問支援員 0.5 名</p>		
4. 利用者実績	<p>(1) 定員 15 名    (2) 契約者数 28 名    (3) 1 日平均 11.1 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。</p> <p>(2) 社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。</p> <p>(3) 運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や健康管理を行うなどの支援を行った。</p> <p>(4) ママさんグータンの実施(母親同士の交流会) 6 月 13 日 長野養護学校見学会 7 月 4 日 稲荷山養護学校見学会 10 月 28 日～31 日 保護者参観ウィークと昼食会</p> <p>(5) みんなの広場の実施(家族参加のお楽しみ会) 7 月 19 日 夏祭り を企画し実施した。 10 月 25 日 運動会 を企画し実施した。 12 月 20 日 クリスマス会 を企画し実施した。 3 月 28 日 おもひで会 を企画し実施した。</p>		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	こどもの自立生活館 茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定されたクラブの参加を通して支援をおこなった。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>②個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p>		
	<p>③個別支援計画に沿った福祉サービスの提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p>		
	<p>④その他の事業 送迎サービス、茜舎連絡員、いつでも相談会、茜舎説明会、メールサービス</p>		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 児童発達管理責任者 1 名 (3) 指導員 4.8 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 20 名 (2) 契約者数 63 名 (3) 1 日平均 15.9 名		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午後 2:30～午後 6:30 (土曜日、学校休業日は午前 10:00～午後 3:00) ※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>①クラブ：定員 20 名 (月) アウトドア (火) お料理 (水) アート (木) おでかけ (金) スポーツ (土) お楽しみ とし、活動を行った。</p>		
	<p>②森と木家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。 草取り (平成 26 年 6 月 2 日、7 月 13 日) 茜舎説明会 (平成 27 年 2 月 11 日、2 月 15 日)</p>		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定された部活動の参加を通して支援を行い一人ひとりが目標を持って活動に参加できるよう支援をおこなった。</p> <p>また、日々の練習の成果を発表する機会として合宿や記録会などの大会に参加し、自己ベスト更新など一人ひとりの目標を達成する事ができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>①個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>②個別支援計画に沿った福祉サービスの提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <p>③その他の事業 送迎サービス、いつでも相談会、茜舎説明会、メールサービス</p>		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 児童発達管理責任者 1 名 (3) 指導員 2.9 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 10 名 (2) 契約者数 38 名 (3) 1 日平均 9.8 名		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午後 2:30～午後 6:30 (土曜日、学校休業日は午前 10:00～午後 3:00) ※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>①茜舎部活：定員 8 名 (月) アートワーク (火) クッキング (水) 水泳 (木) スポーツ (金) ダンスを実施した。 年に 1 度、合宿や記録会、発表会などを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳部：7 月 12、13 日 合宿、サンスポート駒ヶ根水泳記録会) 3 月 8 日 サンアップル水泳大会</li> <li>・スポーツ部：10 月 26 日 若穂とびっくラン 3 k m・10 k m に出場</li> <li>・ダンス部発表会：3 月 13 日</li> </ul> <p>②森と木家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。 草取り (平成 26 年 6 月 2 日、7 月 13 日) 茜舎説明会 (平成 27 年 2 月 11 日、2 月 15 日)</p>		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の外泊体験として、食事の買い物や調理などを支援員と一緒にすることで、自立した生活に向けて体験する場の提供を行った。併せて、緊急時の宿泊や家族の介護軽減等を目的に宿泊の支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) ケアプランに沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 生活支援員 1.8 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 4 名 (2) 1 日平均 2.8 名		
5. 開設時間	月曜日から日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	あかね舎ファミリーホーム	サービスの種類	短期入所
1. 総括	あかね舎ファミリーホームについては、実親家庭での生活が困難になった学齢児を主な対象とする為、定例のケア会議を開催し、ケアプランに基づく支援を行うとともに、健全な家庭生活への復帰を目指し、家庭や関係機関との連絡、相談を密に行う支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) ケアプランに沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) 生活支援員 2.3 名		
4. 利用者実績	1 日平均 2.6 名		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 家庭、関係機関との連携 家庭との面談や学校でのケア会議への出席をし、連携を図った。		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	居宅介護・行動援護 移動支援
1. 総括	<p>行動援護、市町村移動支援事業、市町村タイムケア事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の人を対象にアフターファイブや休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。</p> <p>ケアホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある人に対し、自分らしく生活が送れるようヘルパーを派遣し、居宅介護事業の提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村移動支援事業、市町村タイムケア事業、行動援護事業の実施 平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。 また、集団が苦手な人には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。</p> <p>-----</p> <p>(2)居宅介護 ケアホームで生活されている人を対象に、居宅介護計画に沿った身体介護の提供を行った。また、定期通院などには通院介助の提供を行った。</p> <p>-----</p> <p>(3)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス提供責任者 3 名 (3) ヘルパー6.3 名		
4. 月平均利用時間	(1) 移動支援 275 時間 (2) 居宅介護 415 時間 (3) 行動援護 180 時間		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1)サークルQ 毎週末の土、日曜日に外出、ならびにカルチャースクールなどの 2 企画 10 名程度で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。また、1泊2日の旅行も 3 回開催し、年齢に応じた活動の提供を行った。</p> <p>-----</p> <p>(2)アフター5 (月) 料理、(火) 歌サークル、(水) ダイエット[1.3 週]フィットネス[2.4 週]、(木) リフレッシュ、(金) 絵画教室 と活動を設定し、サービスの提供を行った。当初は月 2 回の予定であったが、参加申し込みが多くなり月 1 回の利用に調整を行うなど、多くの人が利用できるよう対応した。</p> <p>-----</p> <p>(3)ガイドヘルプ 定期的な個別外出、小グループでの外出を企画し、サービスの提供についてはヘルパーの確保が難しく提供できなかった。</p> <p>-----</p> <p>(4)居宅介護（身体介護、通院介助） ケアホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p> <p>-----</p> <p>(5)ダンススクール 毎月 2 回、日曜日に開催した。</p>		

事業報告書【平成 26 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	共同生活援助
1. 総括	<p>共同生活援助指定事業所として共同生活援助計画に基づき、利用者ひとりひとりが主体的に自らの生活を作り上げられることに焦点をあて、きめ細かな支援を行ってきた。利用者が地域において、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行った。</p> <p>平成 26 年 4 月は長野市西尾張部にサンディおわりべ（女性 4 名定員）を開設した。また、メゾン浅川では、長野県地域定着支援センターとの連携により、触法行為のある利用者の受け入れを行い、地域生活の定着のため手厚い支援を実施するなど、個別のニーズに沿った形の生活環境を整備し支援をおこなった。</p>		
2. 事業の内容	(1) 共同生活援助計画の作成 6 ヶ月に 1 度、共同生活援助計画の見直しを行い、必要に応じて共同生活援助計画の変更を行った。		
	(2) 生活支援 食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者 1 人 1 人の個別支援計画に沿ったサービスを提供した。		
	(3) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方には 10 月に長野県健康づくり事業団による健康診断を受けて頂いた。また、希望者にはインフルエンザの予防接種や歯科検診の機会を提案し、健康管理に努めてきた。		
3. 職員数	(1) 管理者 1 名 (2) サービス管理責任者 4 名 (3) 生活支援員 16.7 名 (4) 世話人 26.3 名		
4. 利用者実績	(1) 定員 96 名 (2) 入居者数 93 名		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。		
	(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。		
	(3) 通院介助の実施 定期的な通院が必要な方に関して通院介助による付添支援を実施し、入居者の体調を把握すると同時に主治医と連携を図ってきた。		
	(4) 夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、パート、アルバイトと情報交換を行い、連携を図ってきた。		
	(5) 金銭管理 金銭管理については基本的に法人で行っていないが、金銭管理を行なう家族がおらず、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業での対応が難しい方(4 名)については、例外的に法人で管理を実施している。		
7. 単年度事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンハイツ稲田新規開設 (平成 25 年度長野市障害者施設整備費補助事業)</li> </ul>		



事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	障害児者地域生活相談室 ベターデイズ	サービスの種類	長野市委託事業 長野市ケアプラン作成事業 長野県障害児等療育支援事業 発達障害サポートマネージャ 指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業
1. 総括	障害者総合支援法の中で福祉サービスを利用の障害者全てに相談支援専門員をつけていく最終年度となり、法人利用以外の方からの要望も多く、出来る範囲での受け入れを行った。長野圏域では、発達障害の相談支援の体制づくりや、各地域の課題の掘り起こしを行った。		
2. 事業の内容	<p>①長野市相談支援事業 長野市在住の障害児者を対象に相談支援を行う。長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、地域の課題を分析しながら、社会資源の開発を行い障害のある人が暮らしやすいまちづくりをする。</p> <p>②指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業 障害者（児）者への継続的な相談支援として、相談の受付、アセスメントを行い障害（児）者の抱えている課題に対し適切なケア計画の作成を行い、安心して地域生活が送れるための見守り支援を行っていく。</p> <p>③ 障害児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に、相談を行い必要に応じ早期から療育支援や福祉サービスの利用が出来るよう支援していく。</p> <p>④発達障害サポートマネージャ整備事業 長野圏域を範囲とし、発達障害や家族が将来の見通しをもって安心して社会生活を送るために地域の関係機関と連携をし、支援体制の整備を行っていく。</p>		
3. 職員数	<p>①管理者 1名 ②長野市委託相談員 常勤 1名 ③療育コーディネーター 常勤 1名 非常勤 1名 ④計画相談支援専門員 常勤 4名 ⑤発達障害サポートマネージャ 常勤 1名</p>		
4. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 8 時半～午後 8 時半		
5. 実施内容	<p>(1)①長野市相談支援事業 長野市在住の障害児者を対象に相談支援を行った。長野市障害ふくしネット（長野市自立支援協議会）に参加し、ケアマネ連絡会での事例検討、施策フォーラムで地域の課題の検討を行った。</p> <p>(2)指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業 障害者（児）者への継続的な相談支援として、ケア計画の作成を行った。 障害児利用支援 172 件、継続支援 66 件 障害者利用支援 295 件、継続支援 133 件</p> <p>③ 障害児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に、相談を行い必要に応じ早期から療育支援や福祉サービスの情報提供を行った。障害のあるお子さんを持つ親御さんを対象にのびのびワークショップ（学習会）を 8 回実施した。</p> <p>④発達障害サポートマネージャ整備事業 長野圏域を対象にし、発達障害のあるご本人や、家族への相談を行っている支援者と連携をとり、支援の方向性や、福祉サービス利用へのつながりを行った。医療、教育、福祉の専門機関がそれぞれの役割を理解しつつの緩やかな繋がりを広めていくために「つながる連絡会」を年に 3 回行った。</p>		

事業報告書【平成 26 年度】

事業所名	地域活動支援センター	サービスの種類	地域活動支援センターⅡ型
1. 総括	<p>発達障害の利用者が増加し、個々の相談支援も必要となってきた。コミュニケーションの苦手さからくる利用者同士のトラブルもあり、SSTの必要性や環境整備も必要となった。地域へのイベント「オープンカフェ」は地域の人が多く集まり、定例化されていった。</p>		
2. 事業の内容	<p>①憩いの場の提供「ワンズカフェ」の運営 誰でも立ち寄れる場所として、ワンズカフェを運営。個々の要望に応じたプログラムや参加しやすいイベントを実施し、創作的な活動等社会体験の場を広げる。</p> <p>②相談支援 民生委員や保健センターと連携を図り福祉に繋がっていない人への情報提供を行う。また日常生活の中での悩みの相談や、将来への不安等、個別の対応として個別相談や必要に応じて家庭訪問を行う。</p> <p>③地域との繋がりや障害理解を広める 住民自治協議会や民生委員等と連携をし、地域の人が集える行事や、学習会を開催し、障害理解を広める（地域福祉勉強会）</p> <p>④自分探しプログラム 主に発達障害のある高校生以上を対象とし、障害の特性による苦手さや自分自身の良さを探りながら、日々の生活やさまざまな場面での対応の方法、コミュニケーションの方法を学習していく講座を「就労編」「暮らし編」として行っていく。</p>		
3. 職員数	<p>(1) 管理者 1 名 (2) 生活支援員 1.8 名</p>		
4. 利用者実績	<p>(1) 登録者数 60 名 (2) 1 日平均 15.3 名</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午前 10:00～午後 7:00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>①ワンズカフェの利用</p> <p>②個々の利用者の要望に応じた日中活動（スポーツ、創作活動、料理等）</p> <p>③日々の生活を送る中での思いを語りあえる機会を設定し、当事者が主体的に活動できる場</p> <p>④地域の人も参加出来るイベントや学習会（オープンカフェ）</p> <p>⑤発達障害者を対象にした社会体験の場</p>		